

第3回子供海外派遣研修

今回は、昨年7月27日から8月9日の14日間の日程で姉妹都市サンホセ市、友好都市洛陽市、オーストラリアのブリスベン市へそれぞれ15名の中学3年生を派遣しました。派遣された中学生は一般家庭にホームステイをし、現地の人との交流を深めるとともに、異文化体験をすることにより国際的視野を広めました。



サンホセ市派遣グループ



これが日本のお礼です。



日本からのお土産を渡しました。



野外活動を通じて現地の子供たちと交流。



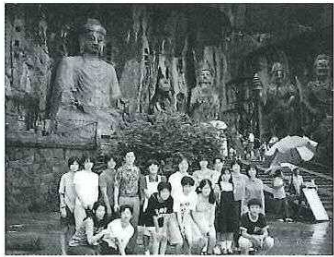
洛陽市派遣グループ



ホストファミリー宅にて。



洛陽外国語学校を訪問。



洛陽の名所「龍門石窟」。



ブリスベン市派遣グループ



折り紙を通じて日本文化を紹介。



ホストファミリーとのキャンプ。



SAYONARA PARTY では皆で「盆踊り」を踊りました。

ボランティア活動

!! ボランティア通訳研修会開催 !!

協議会ボランティア通訳・翻訳登録者及びホームステイ・ホームビジット登録家庭を対象に、3月23日(日)ボランティア通訳研修会を開催し、19名のボランティアが参加しました。

今回の研修は高梁市で行い、まずバスの車内で自分の研修する外国語での自己紹介のあと、頼久寺庭園→武家屋敷館→商家資料館→郷土資料館の順に訪れ、インストラクターを加えた言語別グループに分かれて各施設を説明する形式で行いました。最後に、総合福祉センターにおいて、自分のウィーク・ポイントや研修中に出てきた疑問点、今後の勉強方法などインストラクターにアドバイスしていただき、研修の締め括りとなりました。

今回の研修を生かして、協議会ボランティアのますますのご活躍を期待しています。



↑「郷土資料館」での研修風景。 ↓



「頼久寺庭園」にて、庭園を眺めながらの説明。



↑「商家資料館」にて、醤油作りの工程を説明。 ↓



「総合福祉センター」にて、研修のまとめとして各自のウィークポイントや質問・疑問点について話し合いました。



!! ボランティア活躍記 !!



浅野 民子

(外国人向生活情報紙

「あくら」編集ボランティア)

「あくら」は、創刊号('92.12月創刊)から今回の22号の発行で丸5年になります。試行錯誤の末やっと手にした情報紙は、出来栄は少々不安でしたが感無量でした。それ以来だいたい隔月に発行しています。ボランティア編集員の確保の難しさもあって四苦八苦していますが、岡山市民、在岡外国人のできる限りの多くの方に読んでいただいて、生活に役立ててもらいたいと思っています。

昨年6月、国際交流ミニコミ紙誌フォーラムの研修会に出席させていただきました。今まで絶えず、

これでいいのだろうか、中途半端な気持ちでいましたので、この機会に皆さんの仕事の様子を通じて得られるものがあればと思い、出席いたしました。そこで、どうすれば親しみやすく、読みやすい紙面になるかについての話し合いが行われ、その話し合いは、イラスト・写真を多くして、大きい字にするよう努力しようということに集約されました。将来的には、マンネリ化を避け、読者のニーズにあった記事、見やすく楽しい紙面をこころがけていきたいと思っています。

一方的に日本文化、日常的生活、習慣、岡山の名所等を紹介するだけでなく、外国人の方と共に「あくら」を通じて意見交換の場を持ち、Face to Faceの国際交流の橋渡しになればと思っています。

岡山あいフェスティバル'96

第7回岡山市国際交流祭『岡山あいフェスティバル'96』が10月19日（土）・20日（日）のメインイベント（於：西川アイプラザ、下石井公園一帯）を中心に開催されました。また、貧困撲滅のための国際年にあたり、募金や使用済みテレホンカードの回収に多数の方々のご協力をいただきました。

おかやまグローバルビレッジ(10/19・20)



オープニングイベント(10/19)



手打ちうどん大会(10/19)



相撲場所(10/20)



ステージパフォーマンス(10/19・20)



国際電話フリーコール(10/19・20)



各国自慢料理(10/19・20)

アメリカ先住民による公演

(西川アイプラザ5階ホール 10/19・20)

オレゴン州ワラワラ・カイユース族のドン・サンブソン氏一行を迎え、アメリカ先住民族の文化・歴史についてのトークの後、数々の伝統的な踊りと歌などを披露した。



子供のための国際理解の集い

(西川アイプラザ5階ホール 10/20)

「いま、私たちに何ができるか」をテーマに、市内の小・中学生・外国人による意見交換、また、事前に募集した作文の中から優秀作品に選ばれた3名が発表を行った。



姉妹・友好都市写真展

(西川アイプラザ4階展示コーナー 10/15-20)

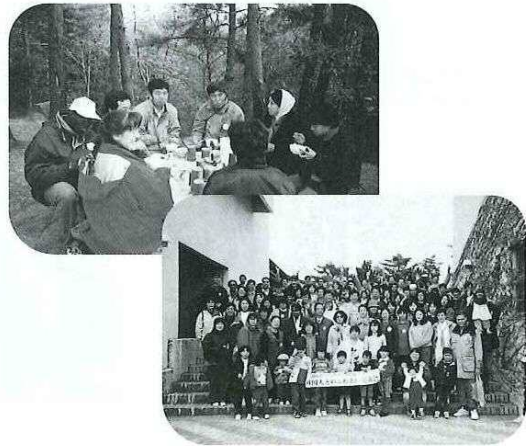
姉妹・友好都市との最近の交流、アジア奨学生受入事業、子供海外派遣研修等の写真パネルの展示及び交流風景等のビデオを放映した。



外国人とのふれあい交流会

(11/17)

市民と市内在住の外国人が参加し、岡山市日応寺の岡山市立少年自然の家で、野外炊飯やオリエンテーリングを通じて交流した。



西大寺会陽参加見学会 (2/15)

日本三大奇祭一つである西大寺会陽「はだか祭」に15か国92名の外国人が参加・見学をした。内、22名は実際に裸になり、「宝木」をめぐる争奪戦を繰り広げた。



外国人写真コンクール

(西川アイプラザ4階展示コーナー 2/23-3/2)

「外国人が見た岡山」をテーマに市内在住の外国人から募集した63点の写真を展示。カナダ出身の英会話学校講師、ピーター・ラウンドヒルさんが金賞を受賞した。



アジア映画祭

(西川アイプラザ5階ホール 3/1・2)

北京の下町で定年退職した老人たちが素人京劇団を組織し、お祭りの日の初舞台に向け四苦八苦しながら稽古を積む「北京好日」(中国映画)、ソウル市内の一軒屋に暮らす元従軍慰安婦の暮らしと心のつぶやきをとらえた「ナムムの家」(韓国映画)を上映。



ふれあいトピックス

在日コスタリカ公使参事官来岡⇨

('96. 4. 5~6)

在日コスタリカ共和国アナ・ルシア・ナサル公使参事官が来岡され、交流を深めた。

また、後楽園、岡山城、オリエント美術館等も見学された。



⇨平成8年度理事会及び総会開催

('96. 4. 24)

岡山市役所に於いて平成8年度理事会及び総会を開催した。また、総会終了後「固定観念と国際化」と題して、榊林原のモハマッド・ライス氏による講演会を開催した。

⇨第1回日本語弁論大会準優勝者来岡

('96. 4. 24~28)

'95. 10月洛陽市に於いて開催された第1回日本語弁論大会の準優勝者、管氷(かん ひょう)さんが来岡し岡山市長を表敬訪問した。また、友好交流サロンでの日本文化紹介講座「生け花」に参加する等交流を深めた。



⇨「姉妹都市フェスタ」開催

('96. 6. 25~30)

岡山国際交流センター(岡山市奉還町)オープン1周年を記念して、県下の姉妹都市等を紹介する「姉妹都市フェスタ」(主催:岡山県、(財)岡山県国際交流協会)が開催され、その行事の一つである「姉妹都市紹介展」に岡山市と姉妹・友好都市との交流写真16点と縁組の経緯等を説明したパネル4点等を出展した。

岡山市少年サッカー友好訪中団訪中⇒

('96. 8. 20~27)

岡山市少年サッカー友好訪中団 (団長 : 岸本盾一氏) 一行38名が「第8回日中友好少年サッカー大会」に出場のため洛陽市を訪問し、サッカーを通じて現地の子供たちとの交流を深めた。



←サンノゼ・パシフィック・ネイバース会員来岡

('96. 10. 14~16)

キャロル・マディガン氏とウルリッチ・デ・ラ・キャンプ氏が来岡し、パシフィック・ネイバースとの今後の交流についての意見交換を行った。

駐日カナダ大使夫妻来岡⇒

('97. 2. 14~16)

ドナルド・W・キャンベル大使夫妻が来岡され、西大寺会陽「はだか祭」を見学されたほか、西川アイプラザに於いて市民を対象に「現代のカナダ」と題した講演会を行った。



←洛陽市野菜・食品考察団来日

('97. 3. 1~9)

岡山市日中友好協会 (会長 : 三島伯之氏) の招待で、洛陽市野菜・食品考察団一行7名が日本の野菜及び食品の市場視察のために来日し、岡山市長を表敬訪問した。岡山へは3月2日から5日まで滞在し、中央卸売市場、水産加工品市場等を視察した。

駐日ブルガリア共和国大使夫妻来岡⇒

('97. 3. 21~23)

ヴァレンティン・ガツィンスキ大使夫妻及びトマ・ニコロフ・チュパロフ商務参事官が来岡された。今後の交流事業等について市長と懇談するとともに、岡山国際交流センターに於いて「私の国ブルガリア」と題した講演会を開催した。



ホ ッ ト ミ ニ 情 報

- ◆岡山県華僑総会（会長：劉勝昭氏）が設立15周年記念レセプションを開催。（'96. 4. 10）
- ◆駐日モンゴル国、バダムオチルイン・ドルジンツェレン特命全権大使が来岡。（'96. 5. 19～20）
- ◆岡山市民親善訪中団、写真交換会を開催。（於：駅前みよしの）（'96. 5. 22）
- ◆岡山シンフォニーホールにおいてアメリカ「カリフォルニア・ユース・シンフォニー」と「岡山市ジュニアオーケストラ」の交流演奏会開催。（'96. 6. 22）
- ◆岡山市経済同友会「アメリカ経済・情報通信事情視察団」（団長：佐々木勝美氏）一行26名が訪米。サンノゼ市も訪問した。（助成金交付事業）（'96. 6. 29～7. 12）
- ◆'96. 7. 12開催の三重県・河南省友好提携10周年記念事業「日中友好都市会議」に洛陽市代表として出席した、洛陽市政治協商委員会、王徳俊副主席が来岡。（'96. 7. 10～19）
- ◆岡山市役所国際課にC I R（国際交流員）として勤務していたマリス・H・グレゴアール氏が、2年の任期を終了し帰国。後任は、カナダ出身のA・レベッカ・モリス氏。（'96. 7. 20）
- ◆7月下旬に中米を襲ったハリケーン「シーザー」により、姉妹都市サンホセ市のあるコスタリカ南部が多大な被害を受けたことから、本協議会から見舞金30万円を贈った。（'96. 8. 13）
- ◆岡山市・洛陽市友好都市15周年記念市民訪問団（団長：藤原貢氏）一行47名が洛陽市を訪問し交流を深めた。（助成金交付事業）（'96. 9. 24～30）
- ◆コンベックス岡山に於て開催された「岡山流通まつり・姉妹都市コーナー」に、姉妹・友好都市4都市の写真・パネルを出展した。（'96. 9. 28～29）
- ◆ヨルダン・ハシミテ王国、ファールーク・カスラーウィ駐日大使夫妻来岡。（'96. 11. 1～3）
- ◆第9回シティホールギャラリー「あなたも私も芸術家」（於：市役所1階市民ホール）として、市民に岡山市の姉妹・友好都市を写真・パネルで紹介した。（'96. 12. 2～10）
- ◆サンホセ市の大学生エンリケ・ロハス・ソリス君が来岡し、友好交流サロンの日本語教室や日本文化紹介講座に参加し、日本語習得と日本文化の体験をした。滞在中は、ホームステイ登録家庭の太田公氏宅へホームステイをした。（'96. 12. 19～'97. 2. 10）

- ◆岡山サンホセ交流協会（会長：谷義仁氏）主催の「姉妹縁組サンホセ市展」が市内の「喫茶サンホセ」で開催され、サンホセ市の写真やコスタリカの民芸品の展示が行われた。（'97. 1. 22～27）
- ◆岡山市在住の洛陽市出身の方々を招いて「春節を祝う会」を開催。（'97. 2. 7）
- ◆在大阪・神戸米国総領事フレデリックW. マーケル氏来岡。岡山市を表敬訪問したほか、山陽新聞社、岡山商工会議所を訪問。（'97. 2. 19）
- ◆ホテルグランヴィアに於いて「国際観光客受入れセミナー」開催。「地球の志」と題して中野良子氏（女優）の講演、「国際会議のプロからみた岡山」と題した隈崎守臣氏（㈱コングレ社長）の講演が行われた。（共催事業）（'97. 2. 20）
- ◆在大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事ニルス・グルーベル氏が岡山国際交流センターで開催された、地球市民講座ドイツ編の第3回「アジアから学ぶー東西文化交流の新しい動向ー」（主催：（財）岡山県国際交流協会）の講演のため来岡。（'97. 2. 20）
- ◆「岡山あいフェスティバル'96」の際に集めた募金（協議会ブース売上金を全額寄付。）と使用済テレホンカード換金分を貧困撲滅に役立てるため、（財）日本ユニセフ協会岡山県支部へ寄付した。（'97. 3. 12）
- ◆岡山アークホテルから、創業10周年の改装により室内で使用していた魔法ピン110本の寄贈があった。岡山大学へ50本、岡山理科大学へ25本贈り、残りの35本は友好交流サロンで希望者に配付中。（'97. 3月）

お し ら せ

- ★情報紙『あくら』編集ボランティア
- ★ボランティア通訳・翻訳
- ★ホームステイ・ホームビジット登録家庭
随時募集しておりますのでよろしく願い
いたします。

岡山市国際交流協議会

事務局 岡山市役所国際課内

〒700 岡山市大供1-1-1

☎086-225-4211（内線 3270-3272）

西川アイプラザ内友好交流サロン

〒700 岡山市幸町10-16

☎086-234-5882